

## 自主防犯活動を行う地域住民・ボランティア団体の活動状況等について

良好な治安の回復のためには、地域での自主的な取り組みが肝要であり、近年、全国的に自主防犯活動を行う地域住民等によるボランティアが活性化していることから、平成16年12月31日現在における自主防犯活動を行う地域住民・ボランティア団体（以下「防犯ボランティア団体」という。）の結成状況・活動状況等について、都道府県警察を通じ調査したところ、その結果は次のとおり。

### 1 防犯ボランティア団体の結成状況

#### (1) 団体数

- ・ 団体数は、8,079団体で前年の3,056団体と比べると約2.6倍に増加
- ・ 団体を構成する構成員別では、町内会・自治会員による団体が半数以上（4,230団体、52.4%）を占める

#### (2) 構成員数

- ・ 構成員数は、521,749人で前年の177,831人に比べ約2.9倍に増加

#### (3) 構成員の平均年齢

- ・ 平均年齢が60歳代である団体が49.1%、50歳代である団体が29.8%を占める

### 2 活動状況

#### (1) 活動日数

- ・ 月平均の活動日数  
1日（2,742団体、33.9%）が最も多いが、ほぼ毎日活動する団体も5.9%（476団体）

#### (2) 主な活動内容

- ・ 徒歩による防犯パトロールを実施している団体 84.7%
- ・ 通学時等の子どもの保護・誘導を実施している団体 45.5%
- ・ 危険箇所点検を実施している団体 35.8%
- ・ 防犯広報を実施している団体 32.5%
- ・ 環境浄化を実施している団体 30.0%

### 3 支援状況

- ・ 警察との合同活動を行っている団体 54.0%
- ・ 警察による研修を受けている団体 31.9%

### 4 その他

- ・ 活動中の事故に係るボランティア保険の加入状況 42.3%

### 5 今後の課題

防犯ボランティア団体数は増加しているが、ボランティア団体が警察に要望するものとして、

- ・ 防犯ボランティア団体に対する支援・協力意識や理解の促進
- ・ 地域の犯罪情勢についての情報提供
- ・ 合同パトロールの促進

等をあげており、

- ・ 犯罪情報等の地域住民への積極的提供
- ・ 警察との合同パトロールや防犯ボランティア団体相互のネットワークづくり
- ・ 防犯活動に必要な装備資機材の提供

などの支援を通じ、自主防犯活動の継続に必要な環境の整備を推進する。